



2021年5月21日

各位

会社名 株式会社かわでん
 代表者名 代表取締役社長 信岡 久司
 (コード: 6648 JASDAQ)
 問合せ先 経営管理部長 神保 能郎
 (TEL 03-6433-0135)

(訂正・数値データ訂正)「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社が2021年5月12日に公表いたしました「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」につきまして、一部訂正がありましたのでお知らせいたします。また数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

なお、訂正箇所につきましては____下線を付して表示しております。

記

1. 訂正理由

「損益計算書」及び「キャッシュ・フロー計算書」の記載に一部訂正すべき事項がありましたので、訂正するものであります。

2. 訂正内容

(サマリー情報)

1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 経営成績

(訂正前)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	18,623	△11.4	<u>1,444</u>	<u>63.9</u>	<u>1,422</u>	<u>41.1</u>	962	45.3
2020年3月期	21,009	8.1	881	△28.7	1,008	△18.3	661	△25.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	300.36	—	6.6	7.1	7.8
2020年3月期	206.64	—	4.7	5.2	4.2

(訂正後)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	18,623	△11.4	<u>1,495</u>	<u>69.6</u>	<u>1,473</u>	<u>46.1</u>	962	45.3
2020年3月期	21,009	8.1	881	△28.7	1,008	△18.3	661	△25.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	300.36	—	6.6	7.3	8.0
2020年3月期	206.64	—	4.7	5.2	4.2

3. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（訂正前）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当 期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,250	1.4	400	△38.8	390	△39.5	250	△39.0	78.05
通期	18,500	△0.7	800	△44.6	780	△45.2	500	△48.0	156.09

（訂正後）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当 期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,250	1.4	400	△38.8	390	△39.5	250	△39.0	78.05
通期	18,500	△0.7	800	△46.5	780	△47.1	500	△48.0	156.09

(添付資料)

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績等の概況

(訂正前)

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中で、二度の緊急事態宣言発令や東京オリンピック・パラリンピックの延期などにより経済活動が大幅に制限され、景気は厳しい状況での推移が続きました。

当業界におきましても、企業収益の悪化に伴う民間設備投資の減少や受注環境の悪化などが懸念され非常に不透明感が強い状況が継続しております。

このような状況下で、当社は取引先様、従業員並びにその家族の安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染症拡大の防止に努めながらも、全力を傾注し営業活動・コスト削減に取り組んでまいりました。しかしながらこの厳しい受注環境の中で売上高は18,623百万円（前期比11.4%減）となりました。

利益につきましては、生産の平準化や徹底したコスト削減などにより、営業利益は1,444百万円（前期比63.9%増）、経常利益は1,422百万円（前期比41.1%増）、当期純利益は962百万円（前期比45.3%増）となりました。

(訂正後)

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中で、二度の緊急事態宣言発令や東京オリンピック・パラリンピックの延期などにより経済活動が大幅に制限され、景気は厳しい状況での推移が続きました。

当業界におきましても、企業収益の悪化に伴う民間設備投資の減少や受注環境の悪化などが懸念され非常に不透明感が強い状況が継続しております。

このような状況下で、当社は取引先様、従業員並びにその家族の安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染症拡大の防止に努めながらも、全力を傾注し営業活動・コスト削減に取り組んでまいりました。しかしながらこの厳しい受注環境の中で売上高は18,623百万円（前期比11.4%減）となりました。

利益につきましては、生産の平準化や徹底したコスト削減などにより、営業利益は1,495百万円（前期比69.6%増）、経常利益は1,473百万円（前期比46.1%増）、当期純利益は962百万円（前期比45.3%増）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(訂正前)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動による資金の増加は2,146百万円となりました。これは法人税等の支払額366百万円など資金の減少があったものの、税引前当期純利益の計上1,414百万円及び減価償却費の計上436百万円など資金の増加があったことによるものであります。

(訂正後)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動による資金の増加は2,146百万円となりました。これは法人税等の支払額402百万円など資金の減少があったものの、税引前当期純利益の計上1,465百万円及び減価償却費の計上436百万円など資金の増加があったことによるものであります。

4. 財務諸表及び主な注記

(訂正前)

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度		当事業年度	
	(自	2019年4月1日	(自	2020年4月1日
	至	2020年3月31日)	至	2021年3月31日)
売上高		21,009,844		18,623,735
売上原価				
製品期首たな卸高		1,179,781		1,177,439
当期製品製造原価		15,993,116		12,740,197
合計		17,172,898		13,917,637
製品期末たな卸高		※1 1,177,439		※1 949,965
製品売上原価		15,995,458		12,967,672
売上総利益		5,014,386		5,656,063
販売費及び一般管理費		※2, ※3 4,133,007		※2, ※3 4,211,704
営業利益		881,378		1,444,358
営業外収益				
受取利息		79		84
受取配当金		10,375		9,010
受取賃貸料		5,527		5,728
保険配当金		13,798		5,827
諸手当見積差額		128,460		-
受取保険金		-		5,361
その他		35,884		12,143
営業外収益合計		194,126		38,155
営業外費用				
支払利息		5,994		5,424
売上債権売却損		43,138		34,153
売上割引		11,456		13,772
閉鎖工場等関連費用		5,450		5,262
その他		796		1,041
営業外費用合計		66,836		59,652
経常利益		1,008,668		1,422,861
特別利益				
固定資産売却益		※4 112		※4 -
投資有価証券売却益		-		0
特別利益合計		112		0
特別損失				
固定資産除却損		※5 6,313		※5 8,159
特別損失合計		6,313		8,159
税引前当期純利益		1,002,467		1,414,702
法人税、住民税及び事業税		301,442		566,398
法人税等調整額		39,100		△113,800
法人税等合計		340,542		452,598
当期純利益		661,924		962,104

(訂正後)

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	21,009,844	18,623,735
売上原価		
製品期首たな卸高	1,179,781	1,177,439
当期製品製造原価	15,993,116	12,740,197
合計	17,172,898	13,917,637
製品期末たな卸高	※1 1,177,439	※1 949,965
製品売上原価	15,995,458	12,967,672
売上総利益	5,014,386	5,656,063
販売費及び一般管理費	※2,※3 4,133,007	※2,※3 4,160,923
営業利益	881,378	1,495,139
営業外収益		
受取利息	79	84
受取配当金	10,375	9,010
受取賃貸料	5,527	5,728
保険配当金	13,798	5,827
諸手当見積差額	128,460	-
受取保険金	-	5,361
その他	35,884	12,143
営業外収益合計	194,126	38,155
営業外費用		
支払利息	5,994	5,424
売上債権売却損	43,138	34,153
売上割引	11,456	13,772
閉鎖工場等関連費用	5,450	5,262
その他	796	1,041
営業外費用合計	66,836	59,652
経常利益	1,008,668	1,473,642
特別利益		
固定資産売却益	※4 112	※4 -
投資有価証券売却益	-	0
特別利益合計	112	0
特別損失		
固定資産除却損	※5 6,313	※5 8,159
特別損失合計	6,313	8,159
税引前当期純利益	1,002,467	1,465,483
法人税、住民税及び事業税	301,442	617,179
法人税等調整額	39,100	△113,800
法人税等合計	340,542	503,379
当期純利益	661,924	962,104

(訂正前)

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,002,467	1,414,702
減価償却費	414,984	436,580
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△38	△7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	31,790	30,206
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30,000	158,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	28,003	26,575
受取利息及び受取配当金	△10,454	△9,094
保険配当金	△13,798	△5,827
受取保険金	-	△5,361
支払利息	5,994	5,424
固定資産除売却損益 (△は益)	6,200	8,159
売上債権の増減額 (△は増加)	112,675	28,706
たな卸資産の増減額 (△は増加)	201,291	136,171
仕入債務の増減額 (△は減少)	△230,310	16,559
未払消費税等の増減額 (△は減少)	124,019	154,463
その他の資産の増減額 (△は増加)	23,367	△13,129
その他の負債の増減額 (△は減少)	△147,474	115,862
その他	-	△0
小計	1,518,716	2,497,991
利息及び配当金の受取額	24,253	14,922
利息の支払額	△5,916	△5,564
法人税等の支払額	△503,758	△366,305
保険金の受取額	-	5,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,033,294	2,146,405
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△515,034	△1,372,303
無形固定資産の取得による支出	△166,847	△11,888
投資有価証券の取得による支出	△624	△622
投資有価証券の売却による収入	3,235	0
差入保証金の差入による支出	△4,017	△8,259
差入保証金の回収による収入	326	84
その他の支出	△25,493	△22,313
その他の収入	112	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△708,342	△1,415,292
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△58,337	△50,006
長期借入れによる収入	200,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△295,635	△283,562
配当金の支払額	△256,479	△256,066
その他	△3,159	△3,032
財務活動によるキャッシュ・フロー	△413,611	△242,667
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△88,659	488,445
現金及び現金同等物の期首残高	8,733,698	8,645,038
現金及び現金同等物の期末残高	※ 8,645,038	※ 9,133,484

(訂正後)

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,002,467	1,465,483
減価償却費	414,984	436,580
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△38	△7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	31,790	30,206
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30,000	158,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	28,003	26,575
受取利息及び受取配当金	△10,454	△9,094
保険配当金	△13,798	△5,827
受取保険金	-	△5,361
支払利息	5,994	5,424
固定資産除売却損益 (△は益)	6,200	8,159
売上債権の増減額 (△は増加)	112,675	28,706
たな卸資産の増減額 (△は増加)	201,291	136,171
仕入債務の増減額 (△は減少)	△230,310	16,559
未払消費税等の増減額 (△は減少)	124,019	154,463
その他の資産の増減額 (△は増加)	23,367	△13,129
その他の負債の増減額 (△は減少)	△147,474	100,790
その他	-	△0
小計	1,518,716	2,533,700
利息及び配当金の受取額	24,253	14,922
利息の支払額	△5,916	△5,564
法人税等の支払額	△503,758	△402,014
保険金の受取額	-	5,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,033,294	2,146,405
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△515,034	△1,372,303
無形固定資産の取得による支出	△166,847	△11,888
投資有価証券の取得による支出	△624	△622
投資有価証券の売却による収入	3,235	0
差入保証金の差入による支出	△4,017	△8,259
差入保証金の回収による収入	326	84
その他の支出	△25,493	△22,313
その他の収入	112	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△708,342	△1,415,292
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△58,337	△50,006
長期借入れによる収入	200,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△295,635	△283,562
配当金の支払額	△256,479	△256,066
その他	△3,159	△3,032
財務活動によるキャッシュ・フロー	△413,611	△242,667
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△88,659	488,445
現金及び現金同等物の期首残高	8,733,698	8,645,038
現金及び現金同等物の期末残高	※ 8,645,038	※ 9,133,484

(損益計算書関係)

(訂正前)

※2 販売費に属する費用のおおよその割合は前事業年度72%、当事業年度66%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は前事業年度28%、当事業年度34%であります。

(訂正後)

※2 販売費に属する費用のおおよその割合は前事業年度72%、当事業年度67%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は前事業年度28%、当事業年度33%であります。

以上